

# 6/15 大学立法粉碎 70年安保粉碎 沖縄斗争勝利 利御堂筋でも共同行動を呼びかける！

全市大のすべての諸君。 6/5には、70年安保闘争の前半の最大高潮を向かえようとしている。砂川、羽田、佐世保と基本的には街頭で進めてきた革命的學生は、東大、日大斗争と一連の激戦の末、いよいよ革命のエネルギーを凝縮し、全共斗運動として、大げんに噴出した。そして、大学の帝主主義的再編を具体化し、ゆくゆくは配給制、そのを更力で、マヒを解体させてゆく闘いとなって結晶した。

その結果、4・28沖縄斗争における被弾法、又全共斗が立法、立法と、治安内閣の性格を向き出しにけざるを得ない状況まで、左派政府、追い込んでいく。そして、全共斗のロジタリヤ的質は、5・23の全共斗の斗争を結接点にして全共斗を勝ちとり、愛知防共阻止、ASPA、C、F斗争へ大衆を提起させている。さらにその過程で我々が確実に勝ち取った佐南、主文の総路線に対する全面的闘いの質を、治安立法粉碎の大衆的人民斗争に内実化させ、さらに闘いの道を、70年安保闘争、沖縄斗争勝利へと合流させてゆかねばならない。そしてこれゆえに、日本のアジア侵略に目を合わせては日鉄鋼の改編に、対峙している日鉄、動向を中心とする反共斗争の安保斗争への加速的激動的高揚、その様は階級斗争の中心安保斗争への攻撃性を示しつつあるすべての反戦運動者との合流が、6/15である。6/15は、その様な反戦運動者、我々の70年安保斗争への攻撃的合流地点としてある。

全市大のすべての諸君。 各学部、各層において、立法粉碎スト体制を構築し、6/15へ向って、行動を組織し、労働者、学生の斗争が、勝ち取ってきた質を発展、継承させ、御堂筋と、左派的労働者、学生、市民のウズをうづめようではないか。すべての学友、教職員諸君は、たまたに斗争を構築せよ。そして、断固、我々と共に闘おうではないか。

ベトナム反戦と反安保のための六月行動委員会 アピール より  
とし迫った状況のもとで、私たちは、反戦と解放の思想をさらに深め、新しい行動をベトナム反戦と反安保に結集するよう訴えます。

私たちは、二、三年前、ベトナム戦争を中止し、ベトナム人の手にわたることを要求して数々の行動を行なってきました。こつた行動の中で、私たちは、日本がこの戦争で果たしている重大な役割を認識し、日本政府がこつ続けている戦争負担政策をやめさせることが、私たちのベトナム反戦の行動の中心的存在であると考えようになりました。――――(略) 6/10

―――― 旧い腐蝕された秩序から解放され、私たち自身の未来を実現してゆくためには、志を同じくする人びとが、その行動を一つの巨大な流れの中に結びつけてゆくことが必要です。――――(略) 6/10  
また六月十五日(日)には、互いの思想と行動の多様性を尊重して共同の行動をくりひろげようではありませんか。

一九五九年五月十七日  
**全共斗**